

新冠アイヌ協会による 合葬墓納骨儀式が行われる



10月1日、新冠アイヌ協会主催の合葬墓納骨儀式が行われ、アイヌ無縁納骨堂に安置されていました847体の遺骨が合葬墓に納骨されました。

合葬墓は判官館一帯の共生空間構想のもと、先人の御霊を郷土の地に返すことを目的に施設を整備したものです。納骨儀式は参列者が見守る中、アイヌ式法要によって執り行われました。

新冠町女性コミュニティ会議が 町を知るバスツアーを開催



10月1日、新冠町女性コミュニティ会議は「新冠見学バスツアー」を開催し、町民16人が町内史跡巡りと日高自動車道建設現場の見学に参加しました。

節婦町で建設中の橋では、工事業者より橋脚からコンクリートを少しずつ伸ばして隣の橋脚に繋げる施工方法の説明を受け、参加者は興味深く説明を聞き入っていました。

公共バスのドライバー向け 安全運転講習を実施



10月22日、安全運転講習会がむかわ町の(株)いすゞ北海道試験場で行われ、当町のバス運行業務に従事する運転手9名が参加しました。

講習会では、フルブレーキ体験や、滑りやすい路面でのABS作動体験などが行われました。どの講習も普段は体験することのできない内容のものであり、参加者は指導者の助言に耳を傾けながら真剣に取り組んでいました。

新冠ほくと園の笑愛委員会が 手作りベンチを寄贈



10月23日、社会福祉法人新冠ほくと園の笑愛委員会（前山光暁委員長）より手作りベンチ6台を寄贈していただきました。

このベンチは、10月1日に同会の会員など9名で制作したベンチで、前山委員長は「地域の皆さんのことを考えてベンチを制作しました。散歩などで、ひと休みする時に使っていたらいい。」と話されました。

大規模災害を想定した 避難所運営訓練を実施



10月15日の津波避難訓練終了後、北海道と共同で新冠小学校にて避難所運営訓練を実施しました。

訓練では、防災にまつわる講話の他、参加者によるダンボールベッドの組み立て体験、非常食の試食などが行われ、その様子は臨時災害放送局のFMラジオで放送されました。

また、グラウンドでは、災害用車両の展示や防災グッズの体験会が行われ、避難所施設を知れる一日となりました。

ま ち の 話 題

あ れ こ れ

芸術の秋 第53回新冠町民文化祭



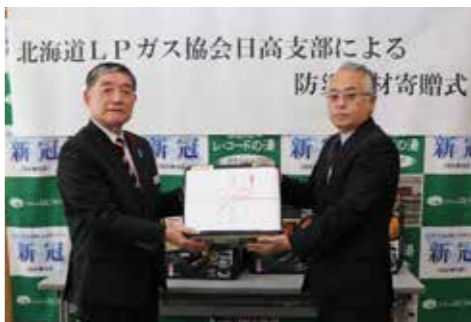
新冠町文化協会は、レ・コード館を会場に第53回新冠町民文化祭を開催しました。

10月15日は、町民ホールで芸能発表会が開催され、11団体がバレエや合唱など活動の成果を発表しました。

また、20日から22日までの3日間は総合作品展が開催され、書道や絵画、写真、陶芸などのほか、中学校や認定こども園、福祉施設の作品などが展示されました。

芸能発表会と総合作品展の期間中は、町内に留まらず町外の方も会場を訪れ、芸術の秋を楽しみました。

北海道LPガス協会日高支部が 防災資機材を寄贈



10月12日、北海道LPガス協会日高支部（武岡大信支部長）より10万円相当のカセットコンロ10台とカセットボンベ4セットを寄贈していただきました。

川村幸彦事務局長は「支部創立60周年を迎えたことを記念し、お世話になって地域の方へ感謝の意を込めて寄贈しました。防災用品として役立てていただきたい。」と話されました。

朝日小学校で 最後の学芸会



10月21日、朝日小学校最後の学芸会が開催されました。

児童たちは、音楽や朝日小学校108年の歴史を散りばめた劇などを元気いっぱい披露しました。

最後に行われた朝日小学校の校歌とも言える『勇気を出して歩こう』の合唱は、参観者も交えて一つの大きな輪になって歌われ、合唱が終わると会場は温かい拍手に包まれました。

企業版ふるさと納税を活用し 新栄クリエイイト株が多額の寄附



10月24日、札幌市の新栄クリエイイト株（佐々木雅一代表取締役）より、当町が掲げる「思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業」に対し、多額の寄附をいただきました。

佐々木代表取締役は、「新冠町とは40年前から上下水道の分野で関わりがあり、何か貢献できないか考えていました。貴町の地方創生の計画を知り、その趣旨に賛同して寄附いたしました。」と話されました。

対馬正さんと佐藤剛さんが 北海道社会福祉協議会会長表彰を受賞



字若園の対馬正さんと字里平の佐藤剛さんが「令和5年度北海道社会福祉協議会会長功労者表彰」を受賞され、10月24日に新冠町社会福祉協議会の鎌田盛行会長より表彰状が伝達されました。

両氏は民生委員など永年にわたり福祉事業に尽力し、社会福祉の増進に貢献した功績が評価され、このたびの受賞となりました。